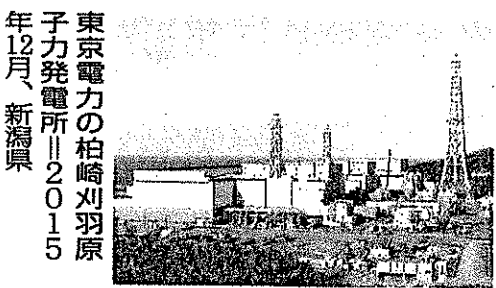


新潟・柏崎刈羽原発

再稼働へ圧力

新潟県の東京電力柏崎刈羽原発（柏崎市・刈羽村）の再稼働をめぐる不穏な動きが続いています。昨年からの資源エネルギー庁長官や東京商工会議所会頭らが相次ぎ来県。花角英世知事が「三つの検証」が終わるまでは再稼働の議論はしない」と表明してきた検証委員会の委員を再任しないなど、再稼働への圧力が強まり、県民から不安や批判の声があがっています。（新潟県・伊藤誠）

新潟県は、東電のトリプル隠し事件を受け、福島原発事故の「健康・生活への影響」「実効性ある避難計画」と合性を検証する「原子力発電所の安全管理に関する技術委員会」を設け、中越沖地震や福島原発事故などの検証を重ねてきました。17年9月には米山隆一知事が



東京電力の柏崎刈羽原子力発電所。2015年12月、新潟県

しかし、18年に当選した花角知事が「三つの検証が終わらないうちには、再稼働の議論はしない」「期限を区切らないで徹底的な検証をおこなう」と繰り返してきた選挙公約がゆるいでいます。検証総括委員会の池内委員長が講演で同委員会の報告書に再稼働の「是か非かも書き込む」ことやタウンミ

県、検証委半数入れ替え 県民から不安や批判

「テイキングの開催など（新潟日報社説）など発言したことを、自民党の柄沢正三県議が「越権行為」だと罷免まで求める質問を昨年12月の県議会ですましています。

花角知事が再稼働に再稼働判断について「県民に信を問う」との公約を繰り返し主張してきましたが、「県の公約を繰り返し主張の意見を踏まえた上で、結論を県民に示したい」とも答弁しています。

今年1月、県技術委員会の14人の委員のうち7人を再任しないことが判明。連絡を受けた立石雅昭新潟大学名誉教授（75）は「2050年温室効果ガスゼロ」宣言に合わせ、原子力政策の推進を明言。東電と経済産業省は柏崎刈羽原発の再稼働について、知事の任期が切れる1年前の「今年6月までの」として、再任を強く求める記者会見をおこないました。「県の判断に疑問が拭えぬ」

さらに菅政権は、選で再稼働を掲げた現職が再選したことなどがあります。また、菅政権は、選で再稼働を掲げた現職が再選したことなどが判明。連絡を受けた立石雅昭新潟大学名誉教授（75）は「2050年温室効果ガスゼロ」宣言に合わせ、原子力政策の推進を明言。東電と経済産業省は柏崎刈羽原発の再稼働について、知事の任期が切れる1年前の「今年6月までの」として、再任を強く求める記者会見をおこないました。「県の判断に疑問が拭えぬ」